

別紙3

令和3年度厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援政策研究事業） 分担研究報告書

生涯にわたる女性の健康支援のための情報提供・教育体制・相談体制構築に関する基礎資料作成 - ②女性の健康支援ウェブサイトの改訂

研究分担者 荒田 尚子 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 母性内科
診療部長

研究分担者 高松 潔 東京歯科大学病院 産婦人科学 教授

研究分担者 立花 良之 国立成育医療研究センター こころの診療部 診療部長

研究分担者 西岡 笑子 防衛医科大学校医学教育部看護学科 母性看護学講座 教授

研究要旨

同班の前班（令和2年度「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究班（研究代表者：荒田尚子）」）において作成された、女性の健康教育と包括的な保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成のためのテキストブック、支援者用動画、実際の支援の際に使用するリーフレットやパンフレットなどのコンテンツを収録した、プラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康教育プログラム」の試作版を基に、①本試作版を分担研究者や研究協力者他、執筆者や作成者の意見を再度聴取し、前班で作成した同プログラムを改訂・再構築し、②実際に、保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援を提供する実証を行いながらさらに改訂し、③アフタコロナ・ウイズコロナの新しい日常において、女性自身が各ライフステージで直面する様々な健康リスクの回避や対処が行えるように保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援を提供する支援者のためのプラットフォームを令和5年度までに完成させる予定である。令和3年度は、同プログラムを改訂・再構築した。

研究協力者

堀江 早喜 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 研究員

三戸 麻子 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 医師

本田 由佳 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 研究員

教育プログラム」の試作版を作成した。

本班では、①本試作版を分担研究者や研究協力者他、執筆者や作成者の意見を再度聴取し、前班で作成した同プログラムを改訂・再構築し、②実際に、保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援を提供する実証を行いながらさらに改訂し、③アフタコロナ・ウイズコロナの新しい日常において、女性自身が各ライフステージで直面する様々な健康リスクの回避や対処が行えるように保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援を提供する支援者のためのプラットフォームを完成させることが目的である。

A. 目的

同班の前班である、令和2年度「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究班（研究代表者：荒田尚子）」において、女性の健康を横断的・予防医学的に教育・支援するために、シームレスな健康教育と包括的な保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成のためのテキストブック、および5～8歳、および18歳～40歳代前半、40歳代以上の更年期～老年期にわたる支援者用動画、実際の支援の際に使用するリーフレットやパンフレットや短い動画、指導書案を作成し、プラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康

B. 方法

令和3年度は、本研究班の分担研究者や研究協力者、執筆者や作成者、厚生労働省の担当者の意見を再度聴取し、前班で作成した同プログラムの問題点を明らかにし、改訂・再構築し、「まるっと！女性の健康教育プログラム」としてオーブ

ンさせた。令和4年度、5年度に上記目的の②および③を達成する見込みである。

C. 結果

(1) 支援者を対象としたテキストブックと支援の際に使用するリーフレット・パンフレット

本研究班の分担研究者や研究協力者、執筆者や作成者の意見を再度聴取し、改訂作業を行った。情報も最新のものに差し替えた。特に図表の転載許可に関する作業を念入りに行い、許可が得られないもしくは、高額な費用を請求されたものは図の変更を行った。

(2) 支援者を対象とした動画、短い支援の際に使用する動画

動画に関しても、(1)との矛盾が生じないように改訂を行った。動画の変更はその手間と費用がかかることから、今後の改訂の間隔等は課題として残った。

(3) 指導書

支援者が読みやすいようになるべく単純化した。5～8歳の指導書に関しては、教育現場や保育の現場では指導書は必須であることから、実施施設で書き換えが容易になるように作成した。

(4) ウェブサイト

説明文書の重複を避け、なるべくシンプルに、使いやすいようなサイトマップに変更し作成した。さらに、専門家の意見をきき、セキュリティ強化のため ISMAP のリストに掲載されているサーバーへの移設が必要となった。

D. 考察

シームレスな女性の健康教育と包括的な保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成のためのプラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康教育プログ

ラム」を作成したが、そのコンテンツの図表の著作権の問題、新しい情報への継続的な更新作業、セキュリティの課題、持続可能なシステムの構築など多くの課題が明らかになった。令和4年度には同システムを使用し、各分野の支援者とともに実際に当事者への支援を行い、さらに改訂をしていきながら、本プラットフォームを完成させていく必要がある。また、本研究班の研究機関終了後も持続可能なシステムにするための対策を検討することも重要な課題である。

E. 結論

シームレスな女性の健康教育と包括的な保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成のためのプラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康教育プログラム」を作成した。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入します)

G. 研究発表

1. 論文発表

1). Development of a health literacy scale for preconception care: a study of the reproductive age population in Japan. Suto M, Mitsunaga H, Honda Y, Maeda E, Ota E, Arata N. BMC Public Health. 2021 Nov 10;21(1):2057. doi: 10.1186/s12889-021-12081-0.

2) プレコンセプションケア 荒田 尚子 チャイルドヘルス(1344-3151)25巻2号 Page135-137(2022.02)

3) プレコンセプションケア 荒田 尚子 周産期医学(0386-9881)51巻増刊 Page1191-1194(2021.12)

2. 学会発表

なし。

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。